

とき

2024年 8月3日(土) 4日(日)

会場

8月3日 全体会

なら100年会館

奈良県奈良市三条宮前町7-1

JR線

・奈良駅西口から徒歩5分

近鉄線

・新大宮駅から徒歩15分

・奈良駅からバスで約5分 徒歩約20分

8月4日 分科会・学習講座

奈良教育大学

奈良市高畑町

JR奈良駅から

・「高畑町」まで、【東口】2番のりばから市内循環・外回り、高畑町で約15分

近鉄奈良駅から

・「高畑町」まで、1番のりばから市内循環・外回り、

中循環・外回り、高畑町で約10分

全国障害者問題研究会

第58回全国大会

奈良2024

Towards a bright future together!



illustrated by TAISEI

大会テーマ

いざ、奈良。

みんなとわがう いまと未来

後援 奈良県/奈良県教育委員会/奈良県社会福祉協議会/奈良市/奈良市教育委員会/奈良市社会福祉協議会/奈良県各市・教育委員会・社会福祉協議会 (申請中を含む)

協賛 日本障害者協議会/障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会/きょうさん/全国肢体障害者団体連絡協議会/全国手話通訳問題研究会/全国障害者とともに歩む兄弟姉妹の会/全国心臓病の子どもを守る会/全日本視覚障害者協議会/全日本ろうあ連盟/日本自閉症協会/日本知的障害者福祉協会/日本てんかん協会/人間発達研究所/公益財団法人ひかり協会

主催

全国障害者問題研究会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-1-10 西早稲田関口ビル4F

TEL 03-5285-2601 FAX03-5285-2603

大会専用メール nara58@nginet.or.jp

最新情報は特設サイトで

全障研HP

<https://www.nginet.or.jp>



全障研第58回全国大会(奈良2024)準備委員会

メール zsknara@gmail.com

準備情報・企画配信

奈良支部facebook



長い長い「コロナ禍」の4年間でした。私たちはこの夏、実に5年ぶりに、対面での全国大会を開催します。「コロナ禍」の4年間、私たちは、種々の制約の下でも、工夫を凝らした地域ごとの研究運動と、それをオンラインでつないだ全国集会を重ねてきました。奈良大会は、その蓄積を基礎に、全国から、本当に久しぶりに仲間が集い、顔をつきあわせて学び合い、語り合う機会です。どうか、この間の切実な悩みと、大切に守り、つないできたねがいをお持ちより下さい。

準備委員会では、多くの知恵と力をより合わせて、久しぶりの対面集会にふさわしい内容を準備しています。懐かしい仲間も、新しい仲間も、ぜひ声をかけ合って奈良にお越し下さい。みなさまとの出会いを心からお待ちしています。

全国障害者問題研究会全国委員長・第58回全国大会（奈良）準備委員長 越野 和之

大会日程

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
8/3 (土)				受付		全体会			(全国総会)	
						保育・なかまのつどい				
8/4 (日)	受付		分科会	昼食	分科会					
			学習講座	昼食	学習講座					
							保育・なかまのつどい			

8月3日(土) 全体会(なら100年会館)

*後日、録画配信の視聴ができます(8/9~9/30)

- 12:00 受付
 12:45 オープニング
 はじまるよ! みんな集まれ!! 「ここからの一歩」
 13:00 開会
 基調報告 全障研全国常任委員会
 重点報告
 13:40 文化行事
 みんなとねがい いまと未来
 ~うたおう ひびかせよう 私たちのねがい~
 14:30 休憩
 15:00 記念講演 池添 素 さん
 微力かもしれないが、無力ではない
 - 子どもたち、障害のある人たちと家族から
 教えてもらったこと -
 16:10 大会ガイダンス・諸連絡等
 16:20 閉会
 16:30~18:00 全国総会 (なら100年会館)



8月4日(日) 分科会(奈良教育大学)

9:00 受付 分科会 9:30~16:30

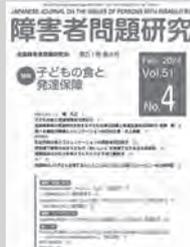
8月4日(日) 学習講座(奈良教育大学)

*後日、録画配信の視聴ができます(8/9~9/30)

- 10:30~12:00
 ① 教育実践と発達保障
 - 子どもたちから学んだこと -
 塚田 直也 さん(「みんなのねがい」編集長)
 12:00~13:00 昼食
 13:00~14:00
 ② 子どもの思いを出発点に
 - ASDや発達障害のある子どもの理解と支援 -
 富井 奈菜実 さん(奈良教育大学)
 14:10~15:10
 ③ 私に人生と言えるものがあるなら
 - 障害の重い人たちと働くことの魅力 -
 原田 文孝 さん(NPO法人ささゆり会)
 15:20~16:20
 ④ 笑顔を育てる子育て
 - 「かわいそう」を「面白そう」に -
 山口 歩 さん(奈良県在住 二人のASD児の母親)



全障研の月刊誌
「みんなのねがい」



全障研の研究誌
「障害者問題研究」



全障研の出版物
オンライン注文



■分科会一覧

*分科会名称については変更になる場合があります。

番号	分科会名	主な内容
----	------	------

◇乳幼児期の実践

1	早期発見・対応、地域療育システム	母子保健・地域保健、健診、親子教室、児童発達支援センター・事業、子育て支援、相談支援など
2	保育所等および専門施設における保育・療育の実践（1）発達のおくれ、知的障害ほか	発達のおくれのある子どもの理解と保育実践、あそび、集団づくりなど
3	保育所等および専門施設における保育・療育の実践（2）自閉スペクトラム症、発達障害	自閉スペクトラム症、発達障害のある子どもの理解と保育実践、コミュニケーション、集団保育と個別のかかわり、あそび、育児相談など
4	保育所等および専門施設における保育・療育の実践（3）肢体不自由・重症児	肢体不自由や重い障害のある子どもの保育・療育、あそび、訓練、医療的ケア、職種間の連携など

◇学齢期の実践

5	通常学校における教育（通級指導を含む）	通常学校・学級における教育実践、通級指導の実践、校内支援体制、コーディネーター、巡回相談など
6	障害児学級の実践、交流・共同教育	授業、教材、集団編成、教育課程、通常学級や通級との連携、学び合い、育ち合う交流、共同教育、障害理解学習、自分理解学習など
7	障害児学校の実践（1）幼稚部・小学部	幼稚部・小学部の授業、教材、集団編成、教育課程、学部や職業コース等の連携など
8	障害児学校の実践（2）中学部・高等部	中学部・高等部の授業、教材、集団編成、教育課程、学部や職業コース等の連携など
9	放課後保障と地域生活	放課後デイや学童保育の実践、子ども理解、集団づくり、事業所運営、地域や学校との連携など

◇青年期、成人期の実践

10	学ぶ、楽しむ、文化活動	青年期の発達と教育、教育年限延長、専攻科の実践、社会教育、生涯学習、音楽や演劇、絵画などの活動、余暇活動の場づくりと制度化
11	働く	就労保障と所得保障、働きがい・生きがい、仕事内容、作業所・施設づくり、地域との連携など 企業における支援など
12	障害の重い人の生活と支援	障害の重い人たちへの支援と活動づくり、医療的ケア、施設や制度の整備など
13	暮らしの場での支援	グループホームや生活施設での実践、ショートステイ、職員体制、生活づくり、通院や買い物への支援、制度の改善など
14	地域での生活と支援	自立へのねがい、所得保障、相談支援、ヘルパー、ボランティア、家庭生活、子育てなど

◇ライフステージを貫く実践と課題

15	重症心身障害、肢体不自由のある人たちの生活と発達	重症心身障害、肢体不自由のある人たちへの実践健康状態の把握、姿勢、摂食、要求表現、感覚、模倣、コミュニケーション手段、自立活動、訪問教育など
16	知的障害のある人たちの生活と発達	子ども理解と教育実践、教育課程、個別の指導と集団づくり、青年期の発達など
17	自閉スペクトラム症、発達障害の人たちの生活と発達	発達とライフステージを見通した実践、「問題行動」や「こだわり」のとらえ方、個別の指導と集団、障害特性と実践、障害の発見、学校や進路の選択、就労、大学教育など
18	障害のある人の性と生	性的にも健康に人間らしく生きる権利、自慰、恋愛、年齢や発達、障害に応じた教育や支援の実践交流、性教育攻撃の動向など
19	障害者運動	社会保障制度の動向、介護保険と障害者福祉、権利条約・総括所見と課題、「基本合意」実現をめざす運動、参政権、成年後見など
20	親、きょうだい、家族	きょうだいの悩み、親の悩み、成年後見、ケアの社会化など

◇特別分科会

特別1	教育条件整備	学校や学級の新增設、学校設置基準、教育条件整備
特別2	精神障害のある人の生活と権利	奈良発・当事者、家族、支援者の連帯した運動に学ぶ
特別3	なかまの分科会	くらしやしごと、いきがいやこれからの夢などを話しあいます

参加費

○会員	6,500円
○一般	7,500円
○配信視聴限定	5,000円
○障害者・学生（会員）	3,500円
○障害者・学生（一般）	4,000円

※全国大会は、みなさんの参加費で運営しています。

- * いずれも「大会報告集」（12月刊行予定・送料込み）代および全体会及び学習講座の録画配信（8/9～9/30）の視聴代を含んでいます。
- * 録画配信（全体会及び学習講座）だけを視聴する参加を希望される場合は「配信視聴限定」でお申し込み下さい。ただし、障害者・学生の方は録画配信視聴のみを希望される場合も「障害者・学生（未会員）」あるいは「障害者・学生（会員）」でお申し込み下さい。
- * 参加申込時に全障研に入会することもできます。
- * 会場参加できない方の「要項・レポート集」は電子版（PDF版）のみとなります。
- * 会場参加者で、点字あるいはテキストデータでの「要項・レポート集」を希望される方は事前にご連絡をお願いします。
- * 保育料については別途連絡いたします。

参加申込方法

全障研ホームページで案内する申込フォーム（ウェブサイト）からの申込となります。（6月1日 受付開始）

◎「当日参加」はありません。必ず事前申し込みをお願いします。

◎サポート、保育、なかまのつどい（障害のある成人成人を対象としたとりくみ）には必ず予約申込が必要です。

移動支援、情報保障などのサポートを希望される場合は、参加申込時にあわせてお申し込み下さい。

保育やなかまのつどいの申込は参加申込と合わせてお申し込み下さい。

いずれも準備の関係で6月30日までに参加申込をお願いします。申込者には後日、準備委員会から詳細についてお伺いします。

申込締切日 **7月21日（日）** 保育、なかまのつどい、サポートを希望される方は**6月30日（日）**

宿泊、弁当の受付は行いません。各自で手配、用意してください。

■ 申込手順

① 事前の準備

申込の登録メールアドレスあてに全障研あるいは受付フォームよりメールを送信します。

事前に全障研と受付フォーム（@nginet.or.jpと@form.runのドメイン）からのメールを受け取れるように設定してから申込をお願いします。

特にdocomo.ne.jp ezweb.ne.jp softbank.jp など携帯会社のキャリアメールをお使いの場合は必ず確認をしてください。

* 携帯電話各キャリアでの設定方法については全障研ホームページに掲載している資料も参考にしてください。

② 申込フォーム（ウェブサイト）から申し込む

・参加者ごとに申込みください。なお、申込の重複を避けるために同じ端末から複数回の申込はできません。ご注意ください。

・必須事項はもれなく記入してください。（メールアドレスは正確に、「報告集」を送付するので、建物名・部屋番号、施設名などもれなく）

・分科会の変更、メールアドレスなどの変更は後日でも可能です。メールでご連絡ください。

・参加費の振り込みが申込者と異なる場合（公費、法人、代表者がまとめてなど）は振込者の「名義人」をご記入ください。

* 「配信視聴限定」のみ、集団での視聴を受け付けます。代表者のお名前でお申し込み、集団での視聴希望をご記入ください。

折り返し、申込受付担当から参加（視聴）者について詳細をお伺いするために連絡を差し上げます。

③ 返信メールを確認する

・申込受付の確認メールを登録メールアドレスあてにお送りします。届かない場合はすぐに全国事務局にメールか電話でご連絡ください。

・メールサーバやメールソフトによっては「迷惑メール」フォルダや「プロモーション」フォルダに仕分けされることもあるので、確認をお願いします。

④ 期日（7月29日）までに指定された口座に参加費を振り込む

・振込料金についてはご負担をお願いします。

・公費、法人、複数人でまとめた振込については事務局にメールでご連絡をお願いします。

■ キャンセル、悪天候等による開催中止の場合など

・入金後の返金はできません。

・開催を中止する場合は、原則として前日の17時までに決定して、全障研のホームページ（<https://www.nginet.or.jp>）で発表します。

開催を中止した場合は、以下のように対応します。①参加費は返金できません。後日、大会準備委員会より「大会要項・レポート集」を送ります。

②大会報告集（12月刊行予定）をお送りします。

分科会レポートの提出について

①レポートを予定している人は全国事務局に「レポート作成の手引き」を請求してください。レポート手引きをもとに、6月14日（金）までに「レポート提出計画書」の提出をお願いします。

②「手引き」にある「プライバシーの保護に関する留意事項」を守り、所定の形式で 7月1日（月）までに全国事務局に提出してください。レポートは参加者に配布される「大会要項・レポート集」に掲載し、参加者に配布します。

◎事前連絡のない「当日持込」は、分科会では発表できません。